

「増進型地域福祉づくり」に関するアンケート調査

■福祉活動者調査の主な調査結果（共通設問を除く）

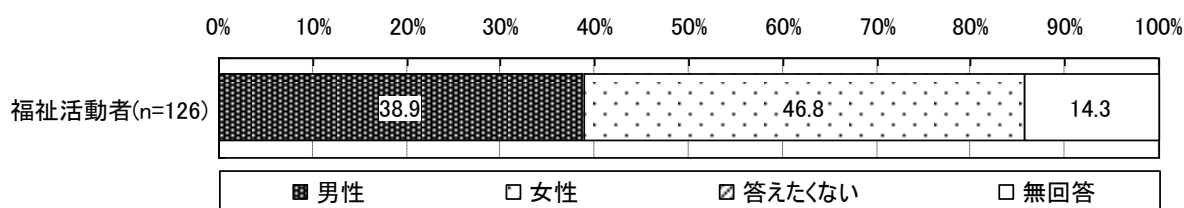
※令和3（2021）年5月28日から6月30日にかけて郵送法により実施（礼状兼催告1回）

調査	調査対象	配布数	回収数	回収率
福祉活動者	市内で地域福祉活動を行っている人	150	126	84.0% (前回 72.1%)

※アンケート調査結果の各設問の母数n(Number of caseの略)は、設問に対する有効回答者数を意味します。
 ※各選択肢の構成比(%)は、小数点第2位以下を四捨五入しています。このため、択一式の回答については構成比の合計が100%にならない場合があります。また、複数回答が可能な設問の場合、選択肢の構成比の合計が100%を超える場合があります。
 ※グラフ中の数字は、特に断り書きのない限りすべて構成比を意味し、単位は%です。

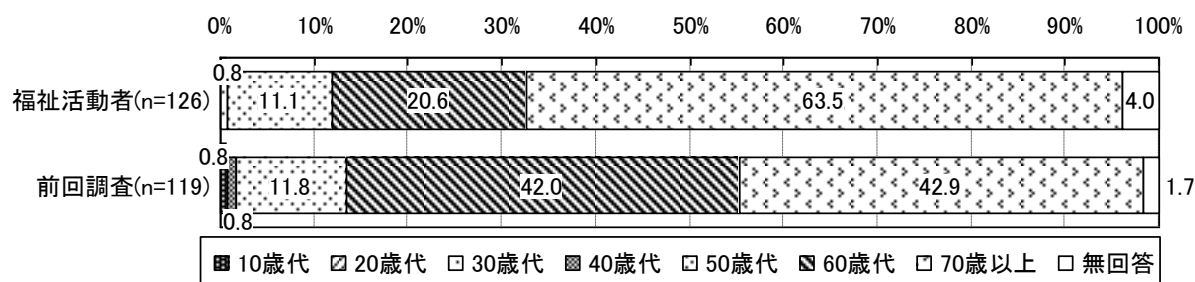
◆あなたに関して、①から④のそれぞれについてあてはまるものを選んで番号に○をつけてください。

①性別



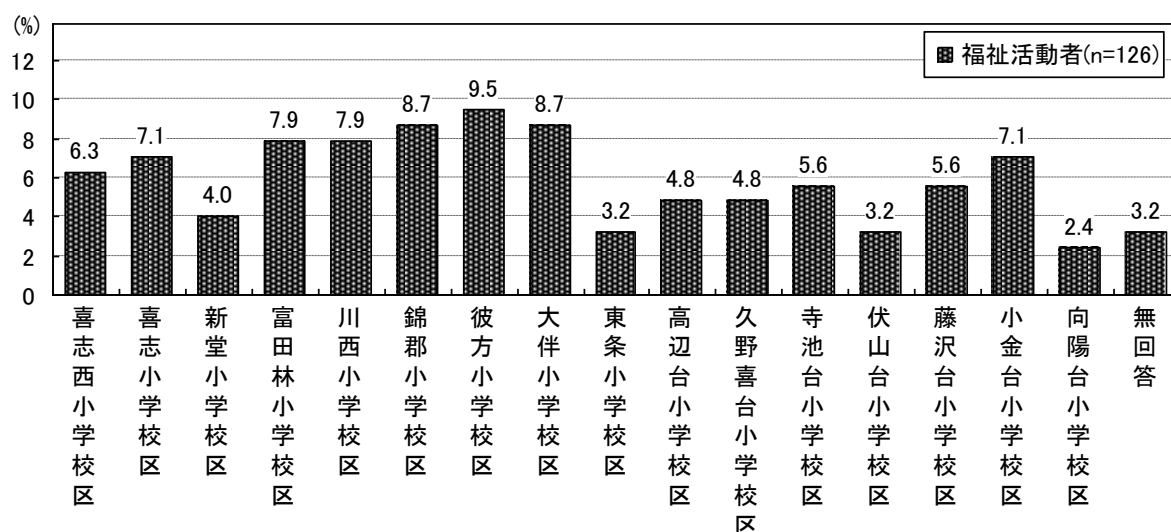
・「女性」が46.8%、「男性」が38.9%となっています。

②年齢



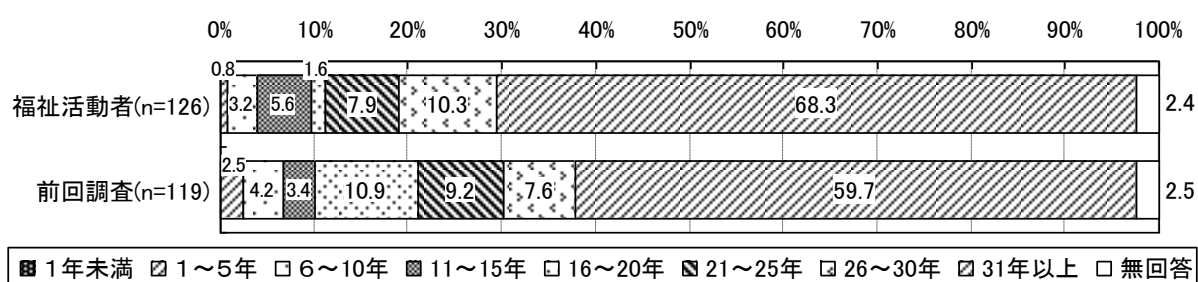
・70歳以上の人63.5%を占めており、平成27(2015)年度に実施した前回調査の結果より高齢化が進んでいます。

③お住まいの地域（小学校区）



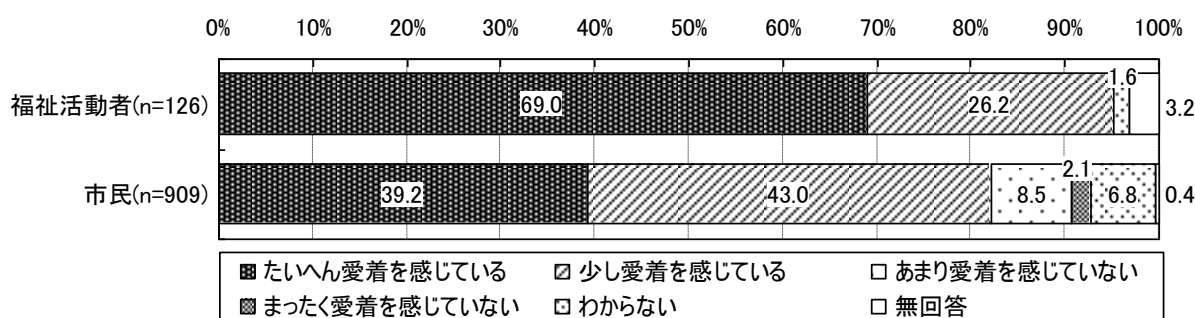
・彼方（9.5%）、錦郡と大伴（8.7%）、富田林と川西（7.9%）、喜志と小金台（7.1%）、喜志西（6.3%）などの順となっています。

④お住まいの地域（小学校区）での居住年数



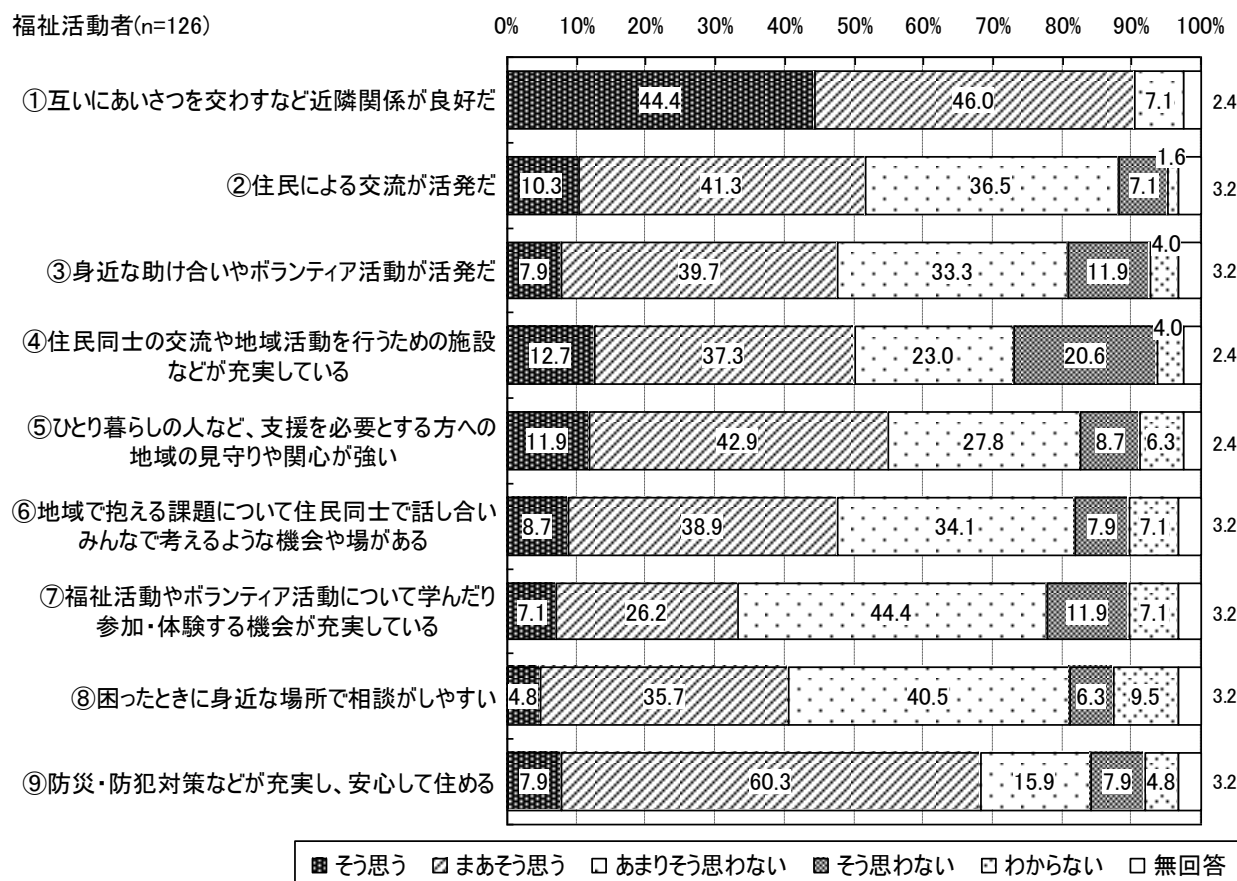
・「31年以上」が68.3%を占めており、前回調査より増えています。

◆お住まいの地域に対して、愛着を感じていますか。(〇は1つ)



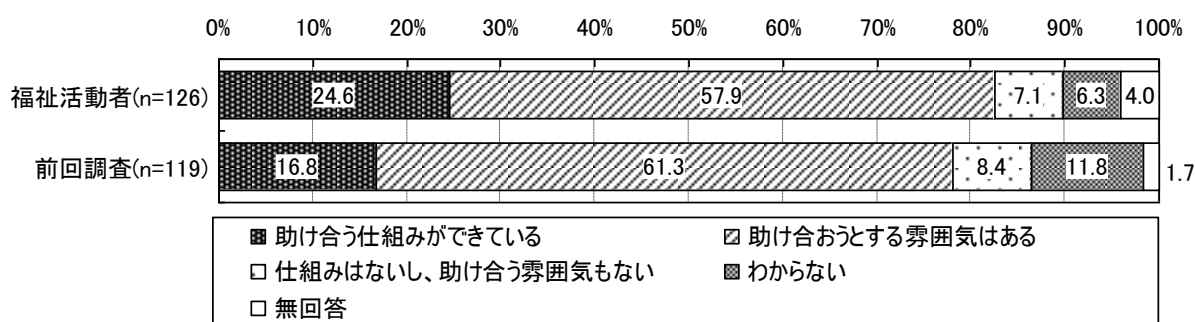
・「たいへん愛着を感じている」が69.0%、「少し愛着を感じている」が26.2%で、合わせて95.2%の人が居住地域に愛着を感じています。

◆お住まいの地域の環境についてどのようにお考えですか。①～⑨のそれぞれの項目ごとに選んで番号に○をつけてください。



・賛同する人（「そう思う」「まあそう思う」）が半数以上を占める項目は、「①互いにあいさつを交わすなど近隣関係が良好だ」（90.4%）、「⑨防災・防犯対策などが充実し、安心して住める」（68.2%）、「⑤ひとり暮らしの人など、支援を必要とする方への地域の見守りや関心が強い」（54.8%）、「②住民による交流が活発だ」（51.6%）、「④住民同士の交流や地域活動を行うための施設などが充実している」（50.0%）となっています。

◆地域で互いに助け合う体制はできていますか。(〇は1つ)



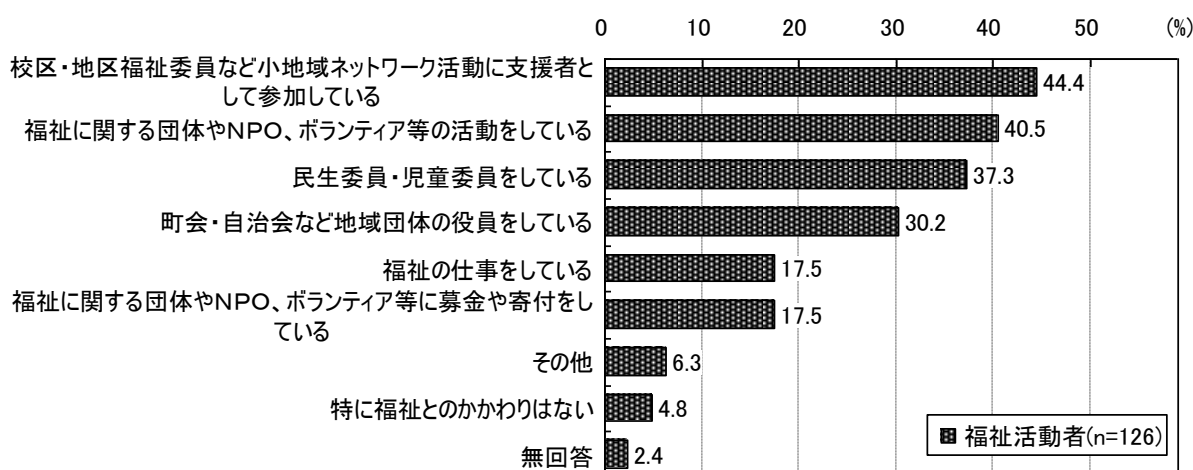
- ・「助け合おうとする雰囲気はある」が57.9%、「助け合う仕組みができています」が24.6%となっており、前回調査の結果と比べて「助け合う仕組みができています」という人が増えています。

◆富田林市内において、最近（おおむね2～3年程度）、新たに起きた問題や増加傾向にある問題等があればお書きください。

※主な自由記述内容

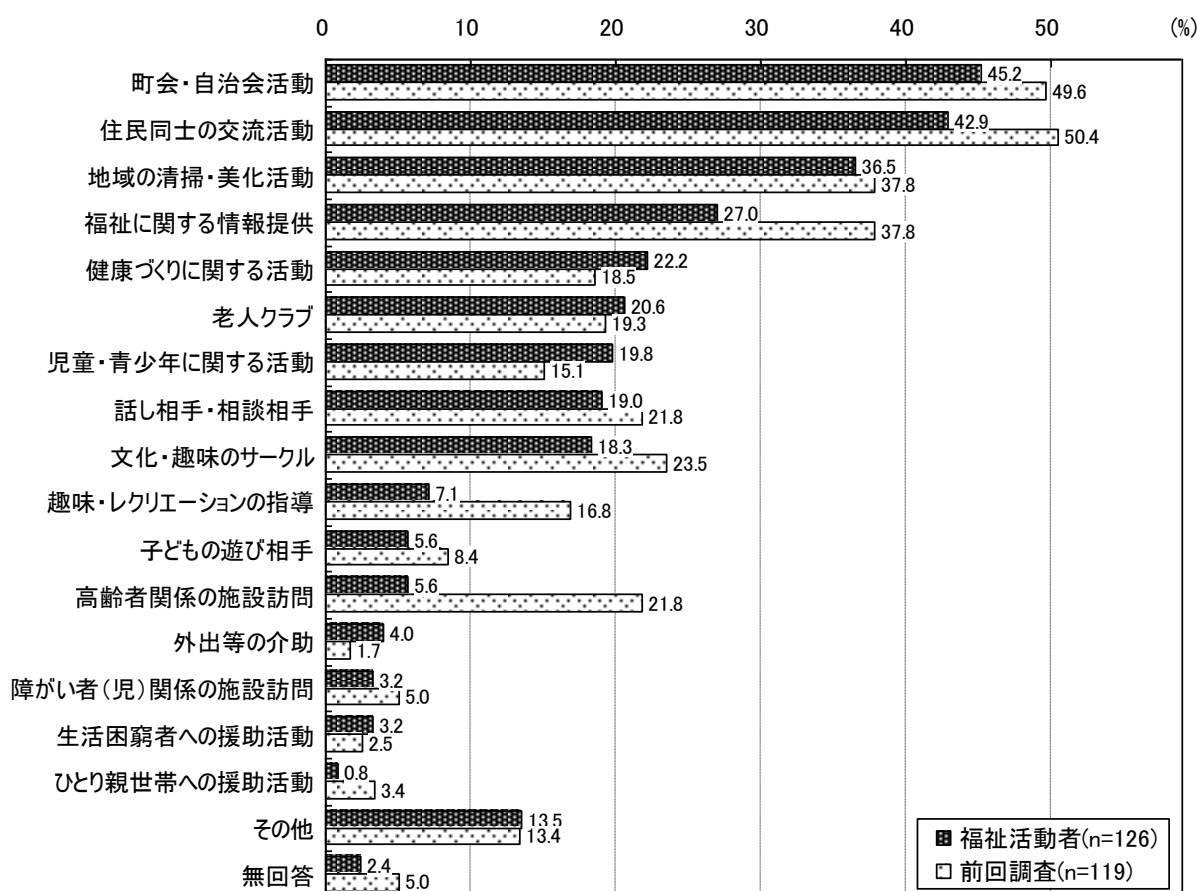
- ・近隣関係の希薄化が進むとともに、町会・自治会への未加入者が増加傾向にある。
- ・マンション等の共同住宅の住民と、従来からの住民とのコミュニケーションがないように感じる。
- ・高齢者の二人暮らし世帯や単身世帯が増加している。
- ・住民の高齢化により自治会、地区福祉委員会等の運営が大変になってきている。
- ・地区の高齢化が進んで公共のバス等がなく、買い物や病院通いが不便な人が増えている。
- ・高齢者だけではなく独居生活者への見守り（孤立死）の問題。配食サービスの日数の増加必要。ひきこもりがちな人たちへの地域を上げて取り組む。
- ・子どもの貧困問題。
- ・ひとり親家庭の問題。
- ・空き家が増え、住民の目が届きにくい場所が多くなった。それに伴って、落ち葉、雑草などがほったらかしになることが多い。

◆あなたと福祉とのかかわりは、次のどれにあてはまりますか。(○はいくつでも)



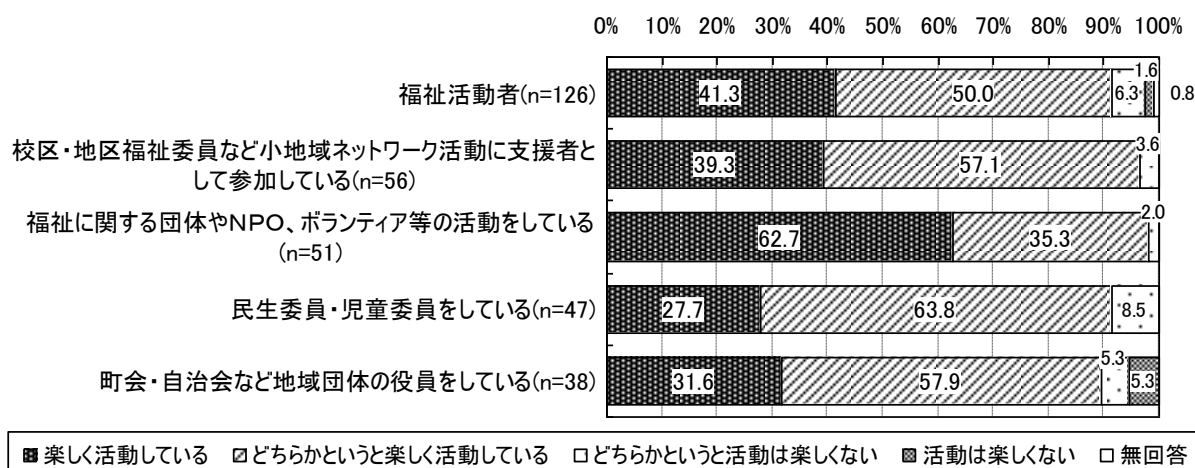
・「校区・地区福祉委員など小地域ネットワーク活動に支援者として参加している」が44.4%と最も多く、次いで「福祉に関する団体やNPO、ボランティア等の活動をしている」が40.5%、「民生委員・児童委員をしている」が37.3%、「町会・自治会など地域団体の役員をしている」が30.2%などとなっています。

◆現在取り組んでいる地域活動は何ですか。(○はいくつでも)



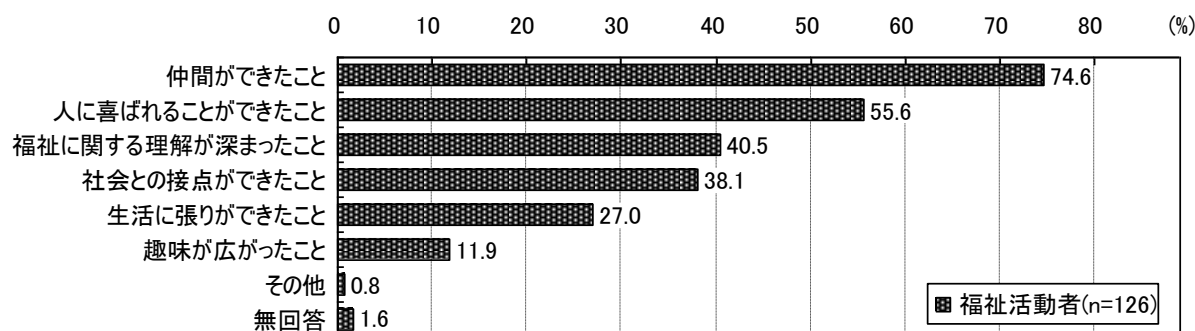
・「町会・自治会活動」が45.2%、「住民同士の交流活動」が42.9%、「地域の清掃・美化活動」が36.5%、「福祉に関する情報提供」が27.0%などとなっています。

◆楽しく活動できていますか。(〇は1つ)



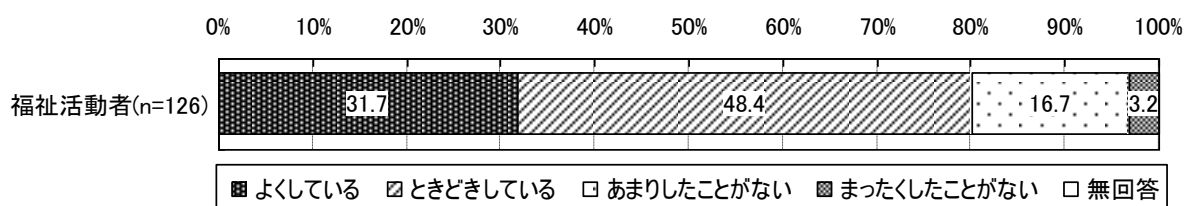
・「楽しく活動している」が41.3%、「どちらかという楽しく活動している」が50.0%と、合わせて91.3%の人が活動は楽しいと答えています。特に福祉に関する団体やNPO、ボランティア等の活動をしている人は62.7%が「楽しく活動している」と答えています。

◆活動して良かったと感じることはどのようなことですか。(〇はいくつでも)



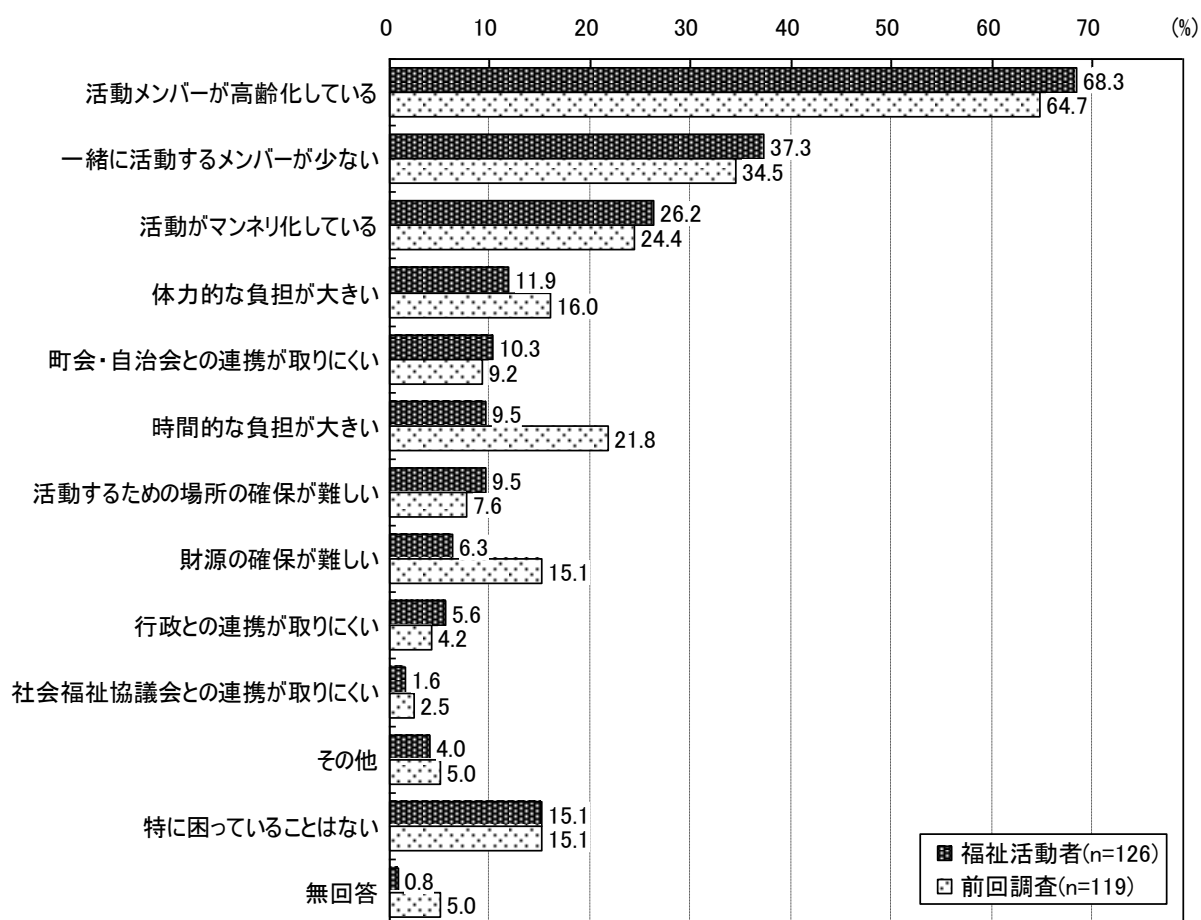
・「仲間ができたこと」が74.6%と最も多く、次いで「人に喜ばれることができたこと」が55.6%、「福祉に関する理解が深まったこと」が40.5%、「社会との接点ができたと」が38.1%などとなっています。

◆地域の方々に対して、地域活動に誘ったり、情報を知らせたりすることがありますか。(〇は1つ)



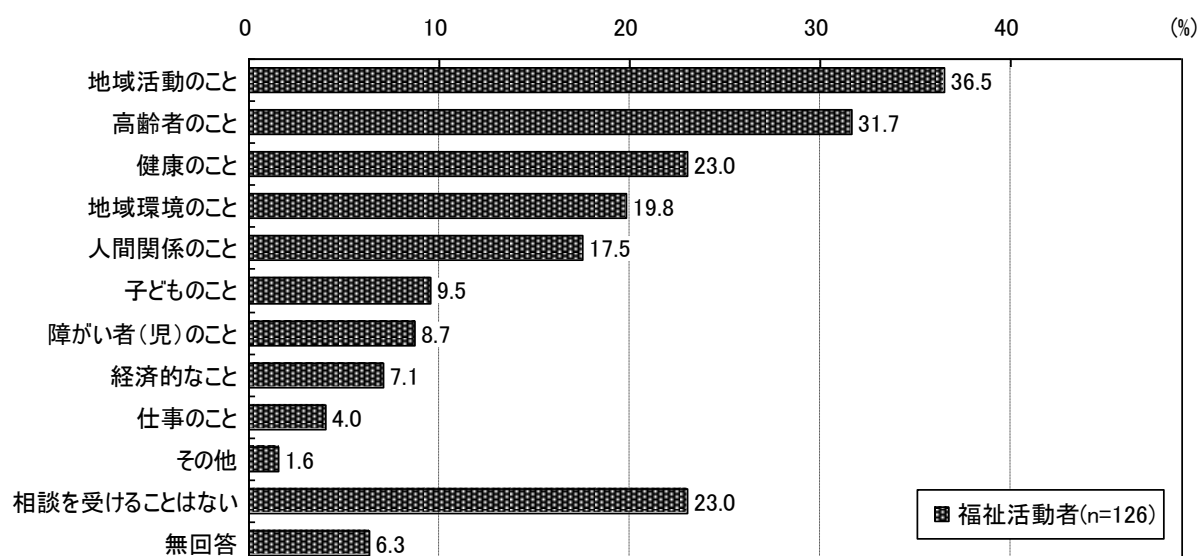
・「ときどきしている」が48.4%、「よくしている」が31.7%と、合わせて80.1%の人が地域の人を活動に誘ったり、情報を知らせています。

◆活動上で困っていることは何ですか。(〇はいくつでも)



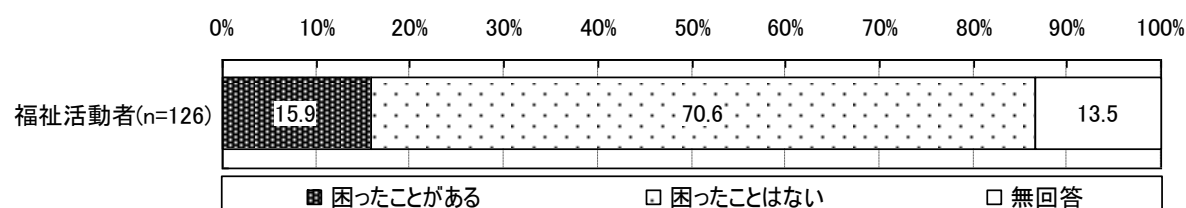
- ・「活動メンバーが高齢化している」が68.3%と最も多く、次いで「一緒に活動するメンバーが少ない」が37.3%、「活動がマンネリ化している」が26.2%の順となっています。
- ・前回調査の結果と比べると、「時間的な負担が大きい」や「財源の確保が難しい」と答える人が減っています。

◆あなたが受ける相談にはどのようなものがありますか。(〇はいくつでも)



・「地域活動のこと」が36.5%と最も多く、次いで「高齢者のこと」が31.7%、「健康のこと」が23.0%、「地域環境のこと」が19.8%、「人間関係のこと」が17.5%などとなっています。

◆地域住民から相談を受けて困ったことがありましたか。(〇は1つ)



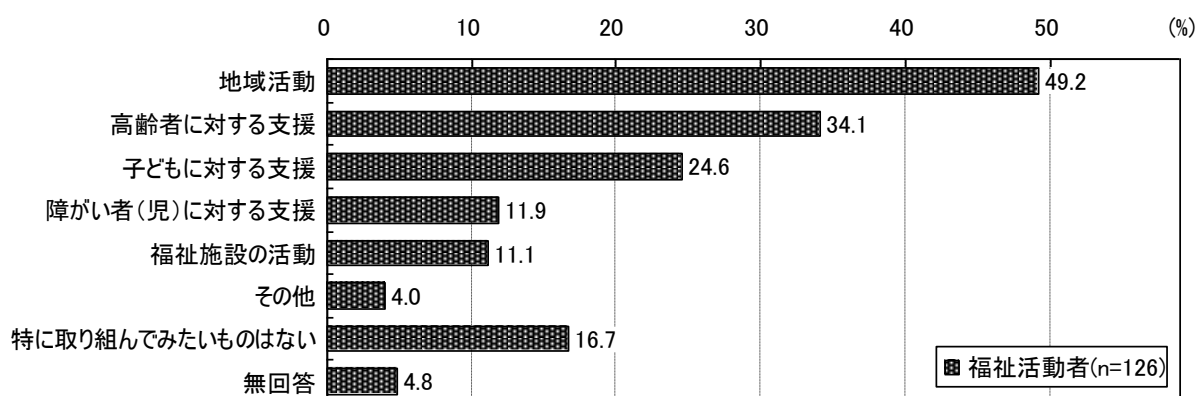
・相談を受けて困ったことがある人は15.9%となっています。

◆困った内容は何ですか。また、そのときにどのように対応されましたか。相談先など差し支えのない範囲でお書きください。

※主な自由記述内容

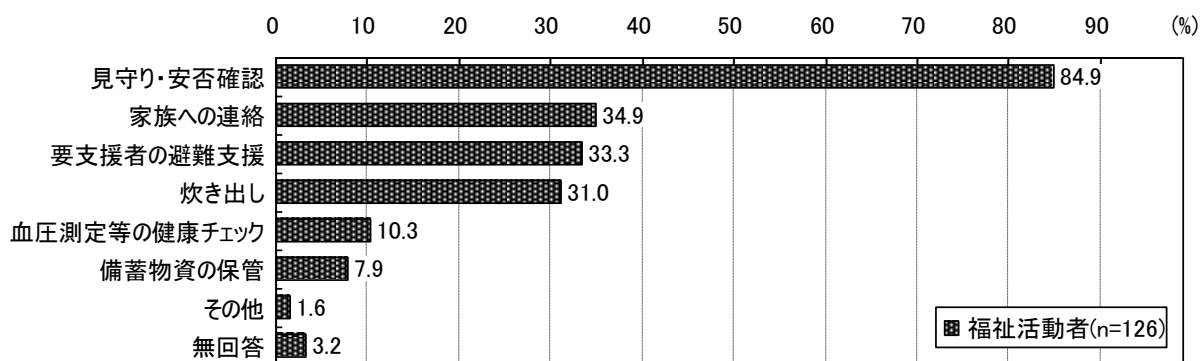
- ・老老介護の支援、①社会福祉協議会への紹介、②ケアマネジャーとの打ち合わせ。
- ・高齢で認知症がある→市役所、社協、地域包括支援センターへ連絡、相談。
無人の家の件、ゴミの件→市役所。
- ・高齢者の方が近所に迷惑行為をする。市役所及び地域包括支援センターと協議、相談。
- ・精神に障がいがある方が相談に来られた時の言葉の対応に困ります。自分の発した言葉によって傷つけてしまわないか悩みます。
- ・福祉委員として活動しても、一部の住民の方から理解いただけず、福祉委員の皆様が気分悪くされることがありました。相談先→社会福祉協議会地域担当。

◆あなたが今後取り組んでみたいことは何ですか。(〇はいくつでも)



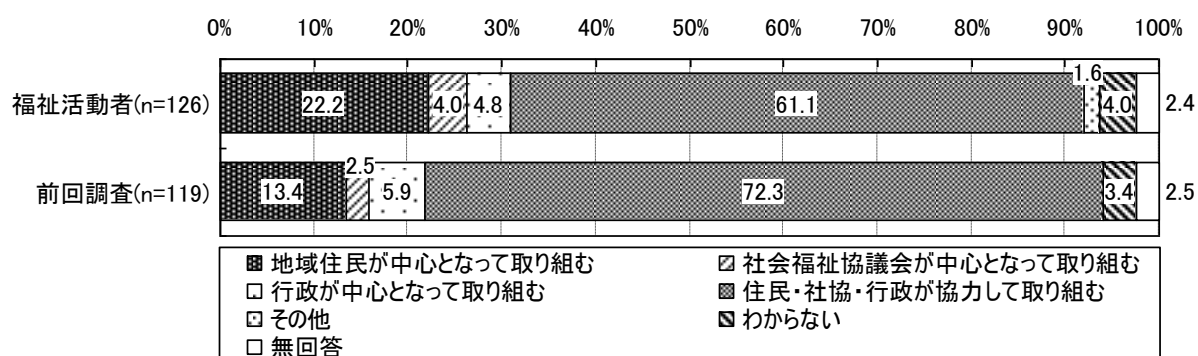
・「地域活動」が49.2%と最も多く、次いで「高齢者に対する支援」が34.1%、「子どもに対する支援」が24.6%などとなっています。

◆避難行動要支援者（高齢者や障がい者（児）など自力で避難することが困難な方）への救助活動や支援について協力できることは何ですか。(〇はいくつでも)



・「見守り・安否確認」が84.9%と最も多く、次いで「家族への連絡」が34.9%、「要支援者の避難支援」が33.3%、「炊き出し」が31.0%などとなっています。

◆今後、地域福祉はどのように進めていくべきだと思いますか。(〇は1つ)



- ・「住民・社協・行政が協力して取り組む」が61.1%を占めており、次いで「地域住民が中心となって取り組む」が22.2%となっています。
- ・前回調査の結果と比べると、「地域住民が中心となって取り組む」という人が大幅に増えています。